

ファミリープレス

Family Press

株式会社 F・ジャパン

〒646-0027 田辺市朝日ヶ丘25-3

TEL0739-26-7297 FAX0739-26-0506

OPEN: 9:00~18:00
HP: <http://f-japan.hoiy.jp>

とにかく暑さを避け、こまめに水分補給を！
平成25年夏（6～9月）…最多となる5万8,729人が熱中症で救急搬送

まだまだ続く熱い夏！ 熱中症対策を万全に



ここ数年、日本の夏は「猛暑」が当たり前になっているようです。それに伴い、熱中症への注意、対策が以前にも増して重要になっています。今年も5月後半から、すでに全国各地で真夏日や猛暑日が観測され、熱中症で病院に運ばれる人が続出しています。

総務省消防庁の資料では、平成25年6月～9月の4か月間、熱中症で救急搬送された人は全国で5万8,729人もありました。前年に比べ約1.3倍増加しており、6月から調査を開始し



た平成22年以来、最多の搬送人員数となっています。そのうち、65歳以上の高齢者が2万7,828人と最も多く、全体の半数近くを占めています。医療機関での初診時における傷病程度をみると、めまい・失神などの「軽症」が最も多く3万6,805人、吐き気・おう吐、体がぐったりするなどの「中等症」が1万9,754人、けいれんや意識がなくなるなど入院・集中治療が必要な「重症」が1,568人、「死亡」が88人となっています。

熱中症予防は、とにかく暑さを避け、こまめに水分を補給することです。急に暑くなる日はとくに注意が必要です。

高齢者は温度に対する皮膚の感受性が低下し、暑さを自覚できにくくなるので、屋内においても熱中症になることがあります。少しでもおかしいと感じたら、ためらわず救急車を呼ぶようにしてください。また、熱中症の危険度を示す「暑さ指数」も、ぜひ参考にしてください。熱中症に関する情報をまとめた「環境省熱中症予防情報サイ」(<http://www.wbgt.env.go.jp/>)では、全国840地点の指数が確認でき、2日先までの予測を知ることができます。暑さ指数は、人間の熱バランスに影響の大きい「気温」「湿度」「輻射熱（ふくしゃねつ：地面や建物・体から出る熱）」の3つを取り入れた指標で、気温のように「℃」で示され、25℃以上を「警戒」、28℃以上を「嚴重警戒」、31℃以上を「危険」としています。例えば、気温は同じでも湿度が高くなると、熱中症のリスクも高まりますから、こうした指標を有効に活用し、熱中症予防をしっかりと行い、元気で楽しい夏を過ごしま

6～9月の全国の熱中症による救急搬送状況（総務省消防庁資料）

	初診時における傷病程度（人）					合計
	死亡	重症	中等症	軽症	その他	
平成 22 年	171	1,848	19,608	32,709	1,783	56,119
平成 23 年	73	1,134	15,240	28,946	1,076	46,469
平成 24 年	76	980	14,736	29,426	483	45,701
平成 25 年	88	1,568	19,754	36,805	514	58,729

お気軽にご相談ください！ ご相談だけでもかまいません
私たちは、お客様一人ひとりに合わせた保険をコンサルティングいたします。

